



来て面白いと思う「まち」を目指して

町内企業参加の第4回益城町企業連絡会議

阿蘇熊本空港ホテルエミナースで2月26日、益城町企業連絡会議が行われました。

町と町商工会が共催した本会議には町内企業や関係者など約40人が参加。「まちづくり」をテーマとした講演を熊本城桜の馬場城彩苑を手掛けた(株)まちづくり熊本社長の丸本文紀氏(株)シアーズホーム代表取締役社長)が講演を行いました。

「来て面白いと思うまちをつくるのが重要」と丸本氏は話し「官民一体で、人が寄りつくまちを創造すること」がポイントになると参加者に伝えました。



熊本城桜の馬場城彩苑を手掛けた経験を基に話す丸本氏



冬の生物観察がおこなわれた田んぼ

冬の田んぼで生き物を調べたよ

サントリー「冬水田んぼ」水源かん養事業

下陳地区にある、地下水かん養を目的とした「冬水田んぼ」(サントリー主催)で3月3日、連携する九州大学工学研究院のみなさんと、津森小学校4年生の子どもたち14人による生物観察がありました。毎年2回、夏・冬の水生生物を比較して多様性を調査しています。水を張った田んぼに網を入れた子どもたちは「何かいるよ!おった!!」とイモリやタガメなどを捕まえて驚いた様子。サントリーの三枝直樹氏は「田んぼや水路にたくさんの小さな生き物がいることを知ってもらいたい」と取り組みの重要性を語ってくれました。

5回目の東日本大震災被災地慰問へ

NPO法人九州ラーメン党が出発式

東日本大震災の被災地を訪れ、ラーメンの炊き出しなどの慰問活動を行っているNPO法人九州ラーメン党(濱田龍郎理事長)が3月7日、5回目となる慰問活動へ出発しました。

同日、役場玄関前で行われた出発式で濱田理事長は「被災地のことを忘れていない、ということ伝えたい」とあいさつ。宮城県石巻市で行われる慰問活動は約1週間の行程で、合計約800食のラーメンが振る舞われる予定だそうです。

また、各種団体から募金などを預かり受けた濱田理事長は「必ず現地に届けてきます」と約束を交わしました。



炊き出し道具一式を乗せ、被災地へ出発する濱田理事長ら



丸本文紀氏



三枝直樹氏



濱田龍郎理事長

thank you for talking!!

インタビューありがとうございました